

令和4年

8月号

ファルマコム便り



暑さも本格的になってまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今年も猛暑やゲリラ豪雨など自然災害による影響や新型コロナウイルスの脅威で医療や経済的機能の低下が懸念されています。災害対策や感染対策など、一人ひとりがこれまで以上に強い自覚を持ち、みんなで乗り越えていきましょう！



桜島で初めて“噴火警戒レベル5”

7月24日夜、桜島で爆発的な噴火が発生し、初めて最も高い「噴火警戒レベル5」に引き上げられ「大噴火の予兆」など驚かれた方が多かったと思います。改めて、火山防災についておさらいしましょう！

「噴火警戒レベル」

噴火警報 (特別警報)	レベル5	避難	居住地域に重大な被害が切迫
	レベル4	高齢者等避難	居住地域に重大な被害のおそれ
火口周辺警報 (警報)	レベル3	入山規制	居住地域の近くまで重大な影響のおそれ
	レベル2	火口周辺規制	火口周辺に影響のおそれ
噴火予報 (予報)	レベル1	活火山であることに留意	火山活動は静穏

桜島は2つの想定

その1) 爆発的な噴火



噴石が想定以上に飛んで島内の一部地域に危険を及ぼす
(普段の火山活動の延長)

★今回のような爆発的な噴火

その2) 大規模噴火

島内の広い範囲に噴石や火砕流、溶岩、火山灰などの影響が及ぶ
★大正噴火など

「火山防災の心構え」

- ①ハザードマップ(火山防災マップ)を参考に危険な場所を確認しましょう
- ②あらかじめ避難場所を確認しましょう
- ③異常現象を発見したら、すぐに市町村、警察、気象台などに連絡しましょう
- ④気象庁が発表する噴火予報及び噴火警報に注意しましょう
- ⑤噴火のおそれがある場合、危険な地域では事前の避難が大切です
- ⑥市町村の指示があった場合には、それに従いましょう
- ⑦噴石が降ってきたら、丈夫な建物や物陰に身を寄せましょう
- ⑧火砕流、土石流が発生したら流路から遠ざかる方向に避難しましょう
- ⑨火山ガスや噴気地帯に気を付けて登山計画を立てましょう



大正噴火クラスの大規模噴火への備えを

地下のマグマ量は“大正噴火”以前の9割まで戻っていると考えられます。火山活動が活発になったら何より早期に避難するのが大切です。特に火砕流や噴石は発生してから避難しても手遅れになります。正しい情報を入手して、危険な場所から速やかに避難するようにしましょう。

～鹿児島弁講座～

「こんカバンな、こもしてやっせんじやった」

(このカバンは、小さくて役に立たなかった)

★ファルマコムでも“川柳を随時募集”しています！★

お便りに掲載させていただきますので担当ケアマネージャーにお問い合わせくださいませ！



ファルマコム居宅介護支援事業所

〒890-0066 鹿児島市真砂町84番19号

電話 099-258-1314

ホームページ <http://www.pharmacom.jp/care/>

9月のこよみ

- 1日 防災の日
- 15日 老人の日
- 19日 敬老の日
- 20日 彼岸入り
- 23日 秋分の日
- 26日 彼岸明け

6月末現在 利用者 271名 サービス提供事業所 183ヶ所